

ひとはつうしん



社会福祉法人 ひとは福社会
〒739-1203
広島県安芸高田市向原町長田1857番地
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムパ・ゾアドVIA) <http://hitoha-fukushi.com> (メルアドVIA) honbu@hitoha-fukushi.com

弥生、三月、春の白差しの中にも、冬を思わせる凜とした空気のせめぎ合いが続きます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

依然としてコロナにまつわるニュースばかりなので、コロナに関することは書くまいと思いましたが、やはりコロナに因んだことになりました。

年明けからの感染拡大により、一定期間法人内ではご家族の方との対面による面談は延期、もしくは電話等を用いて行うこととなりました。最近では会議や授業などもリモートによる開催も定着しつつあります。しかし、ビデオ通話による面談を初めて行ってみて、コミュニケーションとは単に言語のやり取りだけではなく、五感を交えての意思疎通だどつくづく実感しました。特に感情も交えた面談では、お母さん方の表情や会話の間合い、仕草などから、言葉以外のものもくみ取れることもあります。このようなことが、私たち人間が社会的動物といわれる所以でもあるように思います。生物学的には「ヒト」である私たちが、「ひと」と「ひと」の間で共生し合うことで、人間としての営みが持っているのだと思います。

SNSなどのコミュニケーションツールの利便性や恩恵を否定するものではありません。

せんが、子どもたちだけでなく、すべての皆様が安心して会話、交流が図れる日々が再開されることを切に願っています。最後になりましたが、卒園、卒業を迎えられる皆様、おめでとうございます。新しい門出を応援しています。

(児童支援部 佐竹正充)

名前 渡久山 雅人
所属 共同ホームひとは
ほめてあげたい過去の自分
前職の塗装業務で、垂れることなく仕上げられるようになった自分

○自治会きららへインタビュー○

○菅田 勝仁 さん

こまい頃は女の子だった。ぐんぐん伸びてさらに大きくなったら男の子になった。

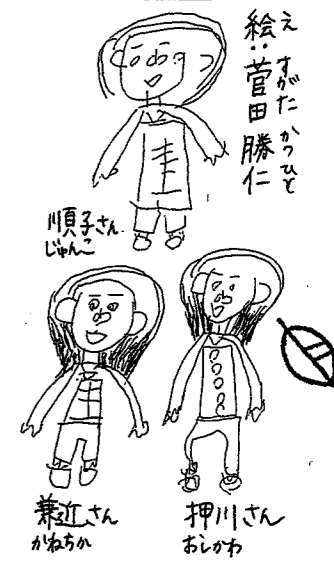
お嫁さんと結婚します。SKEとAKBのコンサートに行きたいし。(ケース担当の)はるちゃん怖いけーね。顔が怖いし、アンパンマンそっくりだし。誰がアンパンマンじゃって言うんよ。

○高森 春菜 さん

うどんとシウマイ好きです。みんなが好きです。平田くんが大好きです。伊藤さんと一緒に配達行きます。(西原さんの)子どもがバナバナナって言った。みんなで踊りたい。

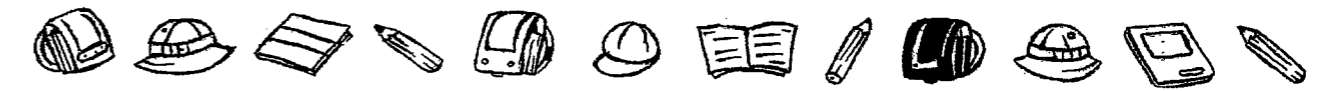
～後日談～

伊藤:「竹内さんに何聞かれた?」
高森:「太りすぎです、言われた」
伊藤:「それから何、言われたん?」
高森:「ダイエットしてください、最近嬉しかったことや仕事のことをインタビューしたのですが... ささき亭で大笑いされたそうです。(竹内)



○向原小学生より、感想文をいただきました。一部を紹介します。

「私が、心に残ったことは、「だれでもが共にくらす社会」を、ひとははめざしていることです。お話を聞いて、しょうがい者の方でも、それぞれの気持ちがあることあるけれど、それぞれの気持ちがあると思いました。」



「掃除の時間」

仕事も終わり、掃除の時間になると、すぐにモップを持って掃く人、まだまだ仕事の延長でいる人、もう帰りの支度をしている人、と様々です。中でも澤井さんは、ホウキについているホコリの固まりを手で取りながら「これがついで、たらうまく掃けんのんヨー。」と、きれいにしています。「階段の手摺も拭いておきましたヨー。」「トレットペーパーも少なくなっているので補充しておいてくださいね。」と何にでもよく気の付く方です。

我が家の掃除も気になりながら澤井さんに「私の家の掃除も手伝ってほしいです」とお願いすると「でもね、私も用事があるから〜。」とうまくかわされてしまいました。
(就労センターあつぽ 奥田照子)

「笑顔の輪」

朝、一日の始まりは「(M-1チャンピオンのように)こんばんは〜(〇〇)」と挨拶する勝乗さんです。冗談を私が聞くのを確認すると、目を合わせて「おはよう増岡さん(〇〇)」ハイタッチの代わりにひじタッチ。勝乗さんの笑顔が私へと移り、周りの人へも移ります。そんな笑顔の輪を自然と広げられる彼女の人の人柄に私は惚れ惚れします。
(ひとは工房 増岡雪枝)

「活力になる」

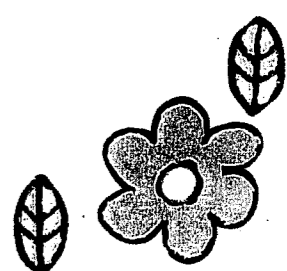
ホームでは余暇を充実させるために、この一年を振り返ると、食べてみるとおかわりしたいと声がかかったカキ氷づくり、秋には縁日、冬にはクリスマス会や豆まきを企画しました。縁日には、スタッフの仲増さん手作りのすたれやゲームをたくさん用意していましたが、何よりも盛り上がりを見せたのは、参加賞のお菓子を食べる時間。クリスマス会でエサタに扮した私の正体を見破ろうとする田丸さんや、ご馳走に夢中な増長さん。豆をまく前に完食した外輪さんも、それぞれの楽しみ方で過ごす姿が、今後ともわくわくできるような企画をしたいと思える活力になります。
(共同ホーム 森末 はるの)

語り継ぎたいこと おーい 聴こえますか 改訂版

ひととはが開所したころ、休憩時間に作業所の前の農道を走ったり、キヤッチボールをしたり、よく外で運動をしていました。中学時代に野球をした経験のあるきららには楽しみの時間でもありました。そんな時、よそをむいておもしろくなさそうな顔をして座っているのが重廣さんです。誘っても、ぶつきらぼうに断ります。走るのならいじやろうと思ひ、マラソンをしようや(と言っても往復一〇〇メートルもない距離ですが)とあの手この手で誘ったとき、重廣さんは走りたくない理由として「走るとのう、運動会を思い出さんよ。いつも僕の後ろに誰もおらんかった。」と昔を思い出して話してました。

学校時代を思うと、学習にしても運動にしても、確かに後ろには誰もいなかったのたのでしよう。そのつらさを表現したのたのでしようが、彼は彼なりに頑張ったんです。たとえ、後ろに誰がいなくても、力一杯頑張ればそれでいいんです。ゴールでしつかり声援を送ります。

走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も
走らないうちの僕も



編後記

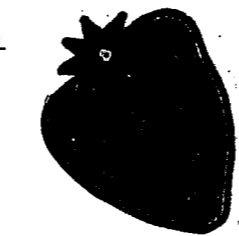
インタビューを終えた後、「りょう子さんが菅田さんの描く絵が大好きだと話されたこと、お願いできますか？」と依頼した。すると、3人をすらすらと描く。足の指先があり、靴にも描かれているpgが面白い。

「私が長い丈の服着るとよく見とるね。」とりょう子さん。

「押しさん(工場の服)の製造の時の。」と菅田さんが話してらいた。

一人一人描かれていることがわかん。

(竹内 友美)



(イラスト(花いちご): 廣田 明日香)